

石ころクラブの活動報告

松原 勝・藤本啓二・藤本守美・舟木冴子
(石ころクラブ勉強会)

石ころクラブの創設について

『ひとく手帖(セミナーガイド)2007年度版』に次のような説明文が掲載されています。
“石が好きな人のための年間を通したセミナーです。研究員によるセミナーを受けたあと、自主的に野外での観察会やセミナーを計画していきます。

そして最後に一年間を通じて採集したものや調べたことを「共生のひろば」で展示します。”

当時の研究員の先山先生・加藤先生・小林先生の呼びかけで、その年より前から、ずっと、地学関連のセミナーを受講している人たちや、春と秋の石めぐりハイキングに参加している人たちに向けた「地学に興味を持つ者がまず集まり、みんながやりたいこと・勉強したいことをやりましょう」というメッセージであり、そう受け取ったたくさんの人たちが、初年度からこの「石ころクラブ」に参加しました。その後は、毎年成果を「共生のひろば」で欠かさず発表・展示してきました。

この2014年度に、先山先生が異動されたことに伴い、連携活動グループ「石ころクラブ」を創設して再出発し、これまでのセミナーを「石ころクラブ勉強会」として新たに主催することになりました。

これまでの活動報告

① 今までに「共生のひろば」で展示・発表してきた成果の一覧です。

・「泥だんご作り」挑戦

人と自然の博物館近辺の土を使い、ピカピカ泥だんごを作りました。

・泥のクレヨン作り

色々な所から、さまざまな色と種類の土を持ち寄り、クレヨンを作り、絵も描いてみました。

・蒜山高原の始良Tn火山灰およびアカホヤ火山灰調査

各地の火山灰を持ち寄り、実体顕微鏡で観察し、プレパラートを作りました。

・特別テーマ「私達の暮らしと大地」

兵庫県における地域の産業・文化、社会のインフラが、大地の成り立ち(地球科学的背景)と密接にかかわりながら発達してきた事例について、講義や実習、現地見学、参加者同士の交流等を通じて学びました。

さらに、学んだ成果を自身の経験などを踏まえながら、様々な世代の人たちに伝えるためのリーフレットを製作し展示しました。

・日高町太田(ただ)スコリアのはぎ取り展示

神鍋火山群の成り立ちの順番が重なって見えているスコリアや火山灰の地層をはぎ取って展示し、それぞれの火山灰を実体顕微鏡で観察しました。

・山陰ジオパーク地形・地質模型作り(完成は来年度の予定)

立体地形・地質模型の制作をしています。等高線で陸地の高さはもちろん、地形・地質・地層・断層や岩石の種類などが色分けされていて特徴がよく分かります。

② 今までに出掛けた野外観察会の主な一覧です。現地へ出掛けて地質などの見学を行い、可能であれば岩石や鉱物などを採集します。

・二上山とドンズルボー

- ・篠山方面
- ・豊岡市竹野町猫崎半島の地質と岩石の見学および日高町猪ノ爪の碧玉の採集
- ・円山川と豊岡盆地（城崎温泉・玄武洞・コウノトリの郷公園・カバン団地・神鍋高原）
- ・神鍋火山群の地層観察と日高町太田スコリアのはぎ取り
- ・生野鉍山と鉍石の道
- ・多田銀銅山見学会（セミナー：多田銀山の地質と大地の成り立ち）

本年度の成果発表

口頭発表とともに、以下のポスター発表を行います。是非、ポスター発表もご覧ください。

- ・「山陰ジオパーク模型」

7年にわたり作成を続けてきた力作の展示をご覧ください。

- ・「多田銀銅山の鉍物」

今年度は8月に多田銀銅山へ野外観察に出かけました。その時に許可を得て採集した斑銅鉍、孔雀石などの多種多様な鉍物を展示しております。是非、ご覧ください。



山陰ジオパーク模型の作成のようす



石ころクラブ勉強会での発表準備のようす



実体顕微鏡や条痕板を用いた鉱物の同定作業



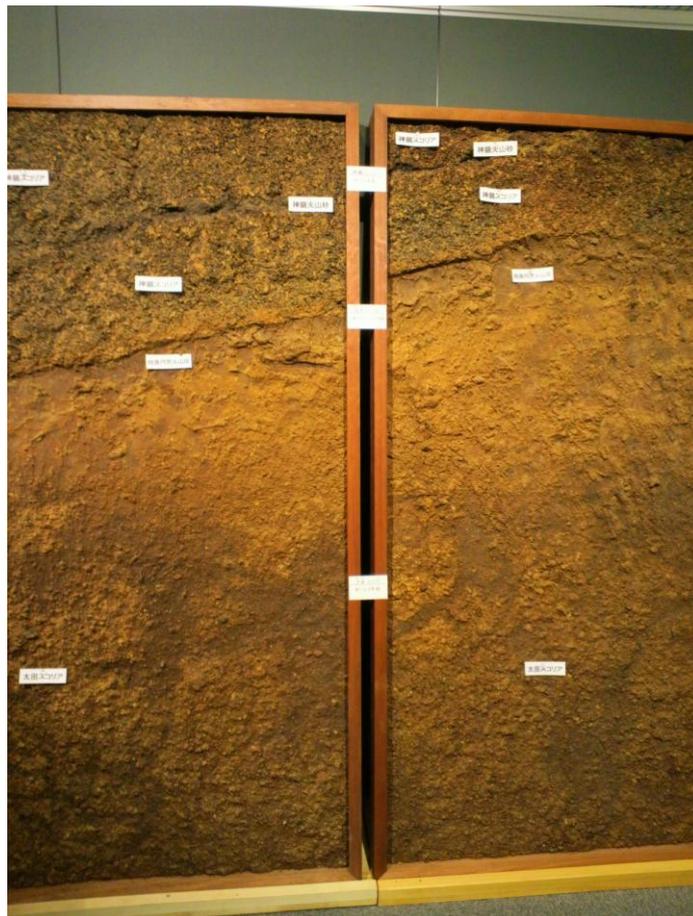
多田銀銅山で採取した緑鉛鉱



実体顕微鏡で観察した緑鉛鉱の結晶



日高町太田スコリアなどの地層のはぎとり作業



完成したはぎとり標本（2面に分けて作成）
下位から、太田スコリア、始良火山灰、神鍋スコリアなどの積み重なるようすが良くわかる。